

【Plan】 計画 / 【Do】 実施													【Check】 評価 / 【Action】 改善									
施策番号・施策名	No.	SDGs 主な ゴール 番号	SDGs ゴール 番号	基本計画の施策を構成する 主な事業・取組	主要事業 所管課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標（目標・実績）					成果の 方向性	R1年度 予算額 （千円）	R2年度 予算額 （千円）	事業費 の増減	人件費（目安）			H30年度 事業 評価	R2年度に向けて 強化・見直した内容 （評価に対する改善方法等）	H30年度 局施策 評価	R2年度に向けて 強化・見直した内容 （評価に対する改善方法等）
							指標名等	現状値 （基準値）	H30年度	R1年度	R2年度					中期 目標	金額 （千円）	職位				
3	⑤		④ ⑤ ⑩ ⑪ ⑰	男女共同参画センター及び勤労婦人センター管理運営事業	男女共同参画推進課	男女共同参画センター・ムーブ及び勤労婦人センター・レディス（もじ・やはた）において、施設の運営をはじめ、地域に根ざした男女共同参画推進、女性リーダー育成、就職・再就職に向けた就業・キャリアアップ支援、あるいは相談事業など、様々な事業を展開し、男女共同参画社会の形成を推進する。	性別による固定的役割分担意識に肯定的な人の割合	26.7% (H29年度)	目標 単年度目標なし	実績 —	達成率 —	H29年度の水準より減少 (R4年度)	継続	330,272	339,251	維持	8,950	課長	0.30 人	順調	男女共同参画社会の形成の推進に向けたイベントや講座の開催、就業・キャリアアップ支援、相談事業などを、事業計画に基づき実施し、市民の意識改革に繋げていく。 「公共施設マネジメント実行計画」に基づき、R2年度末にレディスの用途廃止をしムーブに事業を集約するが、集約する事業については見直しを行う。	
						男女共同参画社会という言葉の認知度	69.7% (H29年度)	目標 80%	実績 —	達成率 —	80% (R4年度)	係長						0.40 人	職員			0.20 人
4	⑤		④ ⑤ ⑩ ⑪ ⑰	地域における男女共同参画推進啓発事業【男女共同参画広報・啓発事業】	男女共同参画推進課	地域における男女共同参画の推進を図るため、地域で活動している団体・グループ等が企画・実施する広報啓発活動を支援し、男女共同参画に関する理解を深める。	男女共同参画社会という言葉の認知度	68.9% (H23年度)	目標 80%	実績 —	達成率 —	80% (H30年度)	継続	3,498	3,648	維持	5,050	課長	0.20 人	順調	「男女共同参画フォーラムin北九州」及び「男女共同参画に関する広報啓発事業」を実施する団体それぞれが、イベント内容や参加対象の幅を広げる工夫をし、市民への意識改革に繋げていく。	
						性別による固定的役割分担意識に肯定的な人の割合	26.7% (H29年度)	目標 単年度目標なし	実績 —	達成率 —	H29年度の水準より減少 (R4年度)	係長						0.20 人	職員			0.10 人

【Plan】 計画 / 【Do】 実施										【Check】 評価 / 【Action】 改善													
施策番号・施策名	No.	SDGs 主な目標番号	SDGs 目標番号	基本計画の施策を構成する主な事業・取組	主要事業所管課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標（目標・実績）					成果の方向性	R1年度 予算額 (千円)	R2年度 予算額 (千円)	事業費の増減	人件費（目安）			H30年度 事業評価	R2年度に向けて 強化・見直した内容 (評価に対する改善方法等)	H30年度 局施策評価	R2年度に向けて 強化・見直した内容 (評価に対する改善方法等)	
							指標名等	現状値 (基準値)	H30年度	R1年度	R2年度					中期 目標	金額 (千円)	職位					人数
II-3-(2)- ② ワーク・ ライフ・ バランス (仕事と 生活の調 和)の推 進	5	⑧	⑤ ⑧ ⑩	ワーク・ライフ・ バランス推進事業	女性 活躍 推進 課	誰もが多様な働き方や 生き方を選択でき、活力 ある豊かな社会を実現す るため、「北九州市女性 活躍・ワークライフバラ ンス推進協議会」を中心 に、企業等の取組支援な どを行うとともに、企業 や地域での様々な活動と 連携しながら仕事と生活 の調和（ワーク・ライ フ・バランス）の推進を 図る。	仕事と生活の調和が 図られていると感じ る人の割合 ※中期目標改訂	目標	単年度目標 なし	H25年度の 水準より増 加	R1年度比 増加	R1年度比 増加 (R6年度)	継続	8,812	7,070	減額	10,700	課長	0.30	人	順調	子育て中の労働者で仕事と生 活の両立が図られていると感じ る人の割合が上昇するように、 北九州市女性活躍・ワークライ フ・バランス表彰の実施やワー ク・ライフ・バランス推進に関 する企業へのアドバイザー等の 派遣、各種セミナーの開催等、 企業への支援を継続して実施す るとともに、事業の効果的なPR を図る。	
								実績	51.8 %														
								達成率	—														
6	⑧	⑤ ⑧ ⑩	<新>北九州イク ボス同盟拡大推進 事業	女性 活躍 推進 課	働く人の幸せ、生産 性・業績の向上、人材確 保に繋がり、その先にあ る「働きやすいまち北九 州」を目指すために、平 成29年度に設立した「北 九州イクボス同盟」の拡 大を推進し、経営者・管 理職の意識改革を図る。	仕事と生活の調和が 図られていると感じ る人の割合	目標			R1年度比 増加	R1年度比 増加 (R6年度)	—	—	1,500	—	10,700	課長	0.30	人	—	市内企業がイクボスの取組を より加速化させるためのインセ ンティブとして、イクボス等の 推進に積極的な市内企業を主体 とした、女性や若者等の求職者 向けのイクボス同盟企業PR会等 を実施する。		
							実績																
							達成率																
7	⑤	⑤ ⑧ ⑩	北九州市職員女性 活躍・ワークライ フバランス推進プ ログラム推進事業	女性 活躍 推進 課	女性職員の活躍とワー ク・ライフ・バランスの 推進は一体的に取組みを 推進することにより相乗 効果が高まるため、女性 活躍推進法に基づく特定 事業主行動計画「女性活 躍推進アクションプラン (第2期：平成26年度～ 30年度)」と次世代育成 支援対策推進法に基づく 特定事業主行動計画「北 九州市職員ダイバーシ ティ推進プログラム（平 成27年度～31年度）」を 整理・統合し、令和元年 5月に「北九州市職員女 性活躍・ワークライフバ ランス推進プログラム」 を策定した。組織の持続 的な成長と多様化する市 民ニーズへ対応するた め、性別にかかわらず活 躍できる組織風土を醸成 し、全ての職員が育児や 介護等のライフスタイル の変化に応じて柔軟な働 き方を選択することで、 いきいきと働きがいを持 って活躍できる職場を 目指す。	ワーク・ライフ・バ ランスが取れている と感じる職員の割合	71.6% (H25年 度)	目標	85 %			85% (R5年度)	継続	7,698	6,768	減額	11,050	課長	0.20	人	順調	「女性活躍推進アクションプ ラン」及び「北九州市職員ダイ バーシティ推進プログラム」を 統合し、「北九州市職員女性活 躍・ワークライフバランス推進 プログラム」推進事業として、 引き続き、制度の周知・活用を 通じ、職員のキャリア形成支援 やワーク・ライフ・バランスの 一層の推進を図っていくとと もに、部署単位で実施する働き 方見直し実践部署コンサルティ ング等で効率的な働き方の実現 を行う。 また、イクボスの実践を図 り、男性職員も育児等に関わり やすい職場風土の醸成も引き続 き実施する。	
						実績	—																
						達成率	—																
						目標	単年度目標 なし	75 %	単年度目標 なし	80% (R5年度)													
						実績	—																
						達成率	—																
						目標	20 %			20% (H30年 度)													
						実績	22.9 %																
						達成率	114.5 %																
						目標	単年度目標 なし	単年度目標 なし	単年度目標 なし	30% (R4年度)													
						実績	20.3 %																
						達成率	—																
目標	単年度目標 なし	90 %	単年度目標 なし	95% (R5年度)																			
実績	94.2 %																						
達成率	—																						

【Plan】 計画 / 【Do】 実施													【Check】 評価 / 【Action】 改善										
施策番号・施策名	No.	SDGs 主な ゴール 番号	SDGs ゴール 番号	基本計画の施策を構成する 主な事業・取組	主要事業 所管課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標（目標・実績）					成果の 方向性	R1年度 予算額 （千円）	R2年度 予算額 （千円）	事業費 の増減	人件費（目安）			H30年度 事業 評価	R2年度に向けて 強化・見直した内容 （評価に対する改善方法等）	H30年度 局施策 評価	R2年度に向けて 強化・見直した内容 （評価に対する改善方法等）	
							指標名等	現状値 （基準値）	H30年度	R1年度	R2年度					中期 目標	金額 （千円）	職位					人数
8	⑧	⑤ ⑧ ⑩		<新>テレワーク 推進事業	女性 活躍 推進 課	仕事と生活を両立する 仕組みづくりのひとつと して、情報通信技術を活 用した柔軟な働き方の整 備を推進するため、職員 一人一人のライフステー ジや生活スタイルに合っ た働き方を実現できるテ レワークの本格導入に向 けて試行拡充を行う。	在宅勤務の実施人数	—	目標 25 人	実績	—	—	5,700	—	6,400	課長 0.10 人	—	係長 0.30 人	職員 0.30 人	—	仕事と生活を両立する仕組み づくりのひとつとして、情報通 信技術を使用した時間と場所を 有効活用できるテレワークの試 行拡充を行い、育児・介護・治 療等の制約があっても両立でき る柔軟な働き方を実現し、職員 のワーク・ライフ・バランスを 推進する。		
II-3-(2)- ③	9	⑤ ⑩ ⑯		男女共同参画基本 計画推進事業（配 偶者等からの暴力 対策事業）	男女 共同 参画 推進 課	配偶者や恋人等、親し い関係にある人からの暴 力は、重大な人権侵害で あることを誰もが認識 し、暴力を容認しない意 識の醸成のための広報・ 啓発を行う。	配偶者等との間にお ける「平手で打つ」 について、暴力と認 識する人の割合	71.1% (H29年 度)	目標 70 %	実績 —	—	—	6,444	5,555	減額	5,050	課長 0.20 人	順調	係長 0.20 人	職員 0.10 人	若年時からの意識改革は重要 であり、男女共同参画に関する 副読本を用いた、子どもの頃か らの男女共同参画への意識の醸 成を図る取組や、高校・大学な どでのデートDV予防教室、DV啓 発リーフレット配布の取組など を継続していく。 なお、「男女共同参画基本計 画推進事業」の総額は減額して いるが、DVに関する予算額は維 持している。	順調	若年時からの意識改革は重要 であり、男女共同参画の意識の 醸成を図る取組や、高校・大学 などでのデートDV予防教室開催 などを継続していく。

【Plan】 計画 / 【Do】 実施										【Check】 評価 / 【Action】 改善												
施策番号・施策名	No.	SDGs 主な ゴール 番号	SDGs ゴール 番号	基本計画の施策を構成する 主な事業・取組	主要事業 所管課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標（目標・実績）					成果の 方向性	R1年度 予算額 （千円）	R2年度 予算額 （千円）	事業費 の増減	人件費（目安）			H30年度 事業 評価	R2年度に向けて 強化・見直した内容 （評価に対する改善方法等）	H30年度 局施策 評価	R2年度に向けて 強化・見直した内容 （評価に対する改善方法等）
							指標名等	現状値 （基準値）	H30年度	R1年度	R2年度					中期 目標	金額 （千円）	職位				
II-3-(2)- ④ 女性の活 躍推進	10	⑤ ⑧ ⑩	⑤ ⑧ ⑩	北九州市職員女性 活躍・ワークライ フバランス推進プ ログラム推進事業	女性 活躍 推進 課	女性職員の活躍とワ ーク・ライフ・バランスの 推進は一体的に取組みを 推進することにより相乗 効果が高まるため、女性 活躍推進法に基づく特定 事業主行動計画「女性活 躍推進アクションプラン （第2期：平成26年度～ 30年度）」と次世代育成 支援対策推進法に基づく 特定事業主行動計画「北 九州市職員ダイバーシ ティ推進プログラム（平 成27年度～31年度）」を 整理・統合し、令和元年 5月に「北九州市職員女 性活躍・ワークライフバ ランス推進プログラム」 を策定した。組織の持続 的な成長と多様化する市 民ニーズへ対応するた め、性別にかかわらず活 躍できる組織風土を醸成 し、全ての職員が育児や 介護等のライフスタイル の変化に応じて柔軟な働 き方を選択することで、 いきいきと働きがいを持 って活躍できる職場を 目指す。	女性役職者（係長級 以上）比率	15.6% (H25年 度)	20 %			20% (H30年 度)						課長	0.20	人	順調	ワーク・ライフ・バランスが 取れていると感じる職員の割合 や、両立しながら新たな業務等 にチャレンジしたいと思う職員 の割合が更に上昇するよう、令 和元年5月策定の「北九州市職員 女性活躍・ワークライフバラン ス推進プログラム」を着実に実 施していく。 平成29年8月に設立した「北九 州イクボス同盟」を中心に、子 育て中の労働者で仕事と生活の 調和が図られていると感じる人 の割合が今後もさらに上昇して いくよう、企業のワーク・ライ フ・バランスや働き方改革に関 する支援を一層推進していく。 また、女性活躍に取り組む企 業への支援や、女性管理職のス キルアップや企業横断的なネッ トワーク化に取組むほか、引き 続き、女性の職業生活の拠点と なるよう「ウーマンワークカ フェ北九州」を運営し、引き続 き女性が創業しやすい環境づく りへの取組みや就業支援等の充 実を図っていく。
						女性管理職（課長級 以上）比率 （教職員・消防職員 を除く）	17.6% (H30年 度)	17.6 %	単年度目標 なし	単年度目標 なし	23% (R5年度)											
						女性管理職（課長級 以上）比率	12.0% (H25年 度)	14.8 %			15% (H30年 度)											
						女性管理職（課長級 以上）比率 （教職員・消防職員 を除く）	13.6% (H30年 度)	13.6 %	単年度目標 なし	単年度目標 なし	15% (R5年度)											
						部課長級の多面評価 「イクボス10か条を 実践できている管理 職の割合」	88.0% (H27年 度)	94.2 %	単年度目標 なし	90 %	単年度目標 なし	95% (R5年度)	継続	7,698	6,768	減額	11,050	係長	0.50	人	順調	「女性活躍推進アクションプ ラン」及び「北九州市職員ダイ バーシティ推進プログラム」を 統合し、「北九州市職員女性活 躍・ワークライフバランス推進 プログラム」推進事業として、 引き続き、制度の周知・活用を 通じ、職員のキャリア形成支援 やワーク・ライフ・バランスの 一層の推進を図っていくととも に、部署単位で実施する働き方 見直し実践部署コンサルティング 等で効率的な働き方の実現を 行う。 また、イクボスの実践を図 り、男性職員も育児等に関わり やすい職場風土の醸成も引き続 き実施する。
						男性職員の育児休業 等取得率	2.5% (H20年 度)	22.9 %			20% (H30年 度)											
						男性職員の育児休業 取得率	14.8% (H29年 度)	20.3 %	単年度目標 なし	単年度目標 なし	30% (R4年度)											

【Plan】 計画 / 【Do】 実施														【Check】 評価 / 【Action】 改善										
施策番号・施策名	No.	SDGs 主な ゴール 番号	SDGs ゴール 番号	基本計画の施策を構成する 主な事業・取組	主要事業 所管課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標（目標・実績）					成果の 方向性	R1年度 予算額 （千円）	R2年度 予算額 （千円）	事業費 の増減	人件費（目安）			H30年度 事業 評価	R2年度に向けて 強化・見直した内容 （評価に対する改善方法等）	H30年度 局施策 評価	R2年度に向けて 強化・見直した内容 （評価に対する改善方法等）		
							指標名等	現状値 （基準値）	H30年度	R1年度	R2年度					中期 目標	金額 （千円）	職位					人数	
11	⑧	⑤ ⑥ ⑦	⑤	<新>北九州イク ボス同盟拡大推進 事業	女性 活躍 推進 課	働く人の幸せ、生産 性・業績の向上、人材確 保に繋がり、その先にあ る「働きやすいまち北九 州」を目指すために、平 成29年度に設立した「北 九州イクボス同盟」の拡 大を推進し、経営者・管 理職の意識改革を図る。	仕事と生活の調和が 図られていると感じ る人の割合	R1年度値を 設定 （参考：H30 51.8%）	目標			R1年度比 増加				課 長	0.30	人			市内企業がイクボスの取組を より加速化させるためのインセ ンティブとして、イクボス等の 推進に積極的な市内企業を主体 とした、女性や若者等の求職者 向けのイクボス同盟企業PR会等 を実施する。			
12	⑧	⑤ ⑧ ⑩	⑤	<新>テレワーク 推進事業	女性 活躍 推進 課	仕事と生活を両立する 仕組みづくりのひとつと して、情報通信技術を活 用した柔軟な働き方の整 備を推進するため、職員 一人一人のライフステー ジや生活スタイルに合っ た働き方を実現できるテ レワークの本格導入に向 けて試行拡充を行う。	在宅勤務の実施人数	—	目標			25 人	100人 (R2~R4 年度累 計)				課 長	0.10	人			仕事と生活を両立する仕組み づくりのひとつとして、情報通 信技術を使用した時間と場所を 有効活用できるテレワークの試 行拡充を行い、育児・介護・治 療等の制約があっても両立でき る柔軟な働き方を実現し、職員 のワーク・ライフ・バランスを 推進する。		
							テレワークデイズへ の参加	—	目標			30 日	参加の 継続				係 長	0.30	人		職 員	0.30	人	
13	⑤	④ ⑤ ⑧ ⑩	④	女性輝き！推進事 業	女性 活躍 推進 課	女性が職場や家庭、地 域において、その個性と 能力を十分に発揮し輝け るよう、企業への働きか けや管理職研修・ネット ワーク形成支援、創業支 援などを行う。	女性の就業率（25～ 44歳） ※中期目標改訂	65.9% (H22年国 勢調査)	目標	単年度目標 なし	70 %	単年度目標 なし	73% (R5年度)				課 長	0.50	人			創業後10年程度までの女性創 業者を対象としたセミナーや交 流会の開催等の機会を増やし、 女性の創業支援のこれまで以上 の充実を図る。		
							ダイバーシティ行動 宣言等登録・届出企 業（累計） ※中期目標改訂	597社 (H26年 度)	目標	単年度目標 なし	1,200 社	単年度目標 なし	1,600社 (R6年度)	継続	9,854	11,455	増額	12,750	係 長	0.40	人	大 変 順 調		

【Plan】 計画 / 【Do】 実施													【Check】 評価 / 【Action】 改善											
施策番号・施策名	No.	SDGs 主な ゴール 番号	SDGs ゴール 番号	基本計画の施策を構成する 主な事業・取組	主要事業 所管課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標（目標・実績）					成果の 方向性	R1年度 予算額 （千円）	R2年度 予算額 （千円）	事業費 の増減	人件費（目安）			H30年度 事業 評価	R2年度に向けて 強化・見直した内容 （評価に対する改善方法等）	H30年度 局施策 評価	R2年度に向けて 強化・見直した内容 （評価に対する改善方法等）		
							指標名等	現状値 （基準値）	H30年度	R1年度	R2年度					中期 目標	金額 （千円）	職 位					人数	
14	⑧	⑤ ⑧ ⑩		ウーマンワークカ フェ北九州運営事 業	女性 活躍 推進 課	女性の就職・キャリア アップ・創業などをワン ストップで支援する 「ウーマンワークカフェ 北九州」を運営する。	女性の就業率（25～ 44歳） ※中期目標改訂	目標	単年度目標 なし	70 %	単年度目標 なし	73% (R5年度)	継続	31,933	32,672	維持	7,950	課長	0.30 人	順調	相談事例の紹介やセミナー案 内等、ホームページやSNS等の充 実を図り、ウーマンワークカ フェ北九州の認知度向上や来所 者数の増加に取り組む。 【中期目標の変更内容】 ・女性の就業率（25～44歳）を 「R1年度までに70%」から「R5年 度までに73%」に変更。（第4次北 九州市男女共同参画基本計画に 掲載） ・ウーマンワークカフェ北九州 開設後の実績や雇用動向を踏ま え、新規利用者数の目標を 「4,000人（R1年度）から3,500 人（R6年度）」に変更。			
								実績	—									3,500人 (R6年度)	係長					0.30 人
								達成率	—															
								目標	3,600 人	4,000 人	3,340 人							3,500人 (R6年度)	職員					0.20 人
								実績	3,295 人															
								達成率	91.5 %															
15	⑧	④ ⑤ ⑧ ⑩		働き方改革先進都 市事業	女性 活躍 推進 課	女性の理工系分野への 関心を高めることを目的 とした女子中学生向けの 「理工チャレンジ」体験 プログラムや、子育て女 性向け就業支援等、将来 にわたっての多様な働き 方の実現をさらに推進す る。	女性の就業率（25～ 44歳） ※中期目標改訂	目標	単年度目標 なし	70 %	単年度目標 なし	73% (R5年度)	継続	2,580	2,300	減額	5,400	課長	0.10 人	順調	「理工チャレンジ」体験プロ グラムについては、予算面での 効率化を図りつつも、内容面 での充実に取り組む。 【中期目標の変更内容】 ・女性の就業率（25～44歳）を 「R1年度までに70%」から「R5年 度までに73%」に変更。（第4次北 九州市男女共同参画基本計画に 掲載） ・ウーマンワークカフェ北九州 開設後の実績や雇用動向を踏ま え、新規利用者数の目標を 「4,000人（R1年度）から3,500 人（R6年度）」に変更。			
								実績	—									3,500人 (R6年度)	係長					0.20 人
								達成率	—															
								目標	3,600 人	4,000 人	3,340 人							3,500人 (R6年度)	職員					0.30 人
								実績	3,295 人															
								達成率	91.5 %															

【Plan】 計画 / 【Do】 実施													【Check】 評価 / 【Action】 改善									
施策番号・施策名	No.	SDGs 主な目標番号	SDGs 目標番号	基本計画の施策を構成する主な事業・取組	主要事業所管課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標（目標・実績）					成果の方向性	R1年度 予算額 （千円）	R2年度 予算額 （千円）	事業費の増減	人件費（目安）			H30年度 事業評価	R2年度に向けて 強化・見直した内容 （評価に対する改善方法等）	H30年度 局施策評価	R2年度に向けて 強化・見直した内容 （評価に対する改善方法等）
							指標名等	現状値 （基準値）	H30年度	R1年度	R2年度					中期 目標	金額 （千円）	職位				
II-3-(4)- ① 平和の尊 さへの理 解の促進	16	④	④	(仮称) 平和資料館建設事業	総務課	戦後70年余りが経過し、悲慘な戦争の記憶の風化が懸念され、戦争の記憶を後世に伝えることが重要となっている。改めて、戦争の悲慘さを市民に伝え、平和の大切さ、命の尊さを考えるきっかけとするため、新たに「(仮称) 平和資料館」の建設に向けた取組を行う。	(仮称) 平和資料館の建設	—	目標 建築工事等設計業務の着手	実績 施設や展示に係る基本・実施設計	達成率 —	—	—	—	—	課長 1.00 人	順調	令和2年度は資料館の本体工事に着手するなど、建設に向けたハード事業に関する取り組みを引き続き行っていく。また、専門的な見地から意見を聴取する「(仮称) 平和資料館開設準備懇話会」を引き続き開催し、ソフト事業に関する検討を行い、その内容を踏まえて、展示製作業務に着手することとしている。	順調	(仮称) 平和資料館については、令和2年度は本体工事に着手するなど建設に向けたハード事業に関する取り組みを引き続き行っていく。また、専門的な見地から意見を聴取する「(仮称) 平和資料館開設準備懇話会」を引き続き開催し、ソフト事業に関する検討を行い、その内容を踏まえて、展示製作業務に着手する予定である。 また「嘉代子桜・親子桜」の植樹に引き続き取り組むほか、「嘉代子桜・親子桜」の植樹事業のフォローアップの観点から、紙芝居「嘉代子桜」を市内小学校へ配布するなどの事業を実施し、平和の願いや戦争の記憶を後世へと伝えていく。 他に、長崎市が主催する「青少年ピースフォーラム」への小中高校生の派遣、親子で平和の尊さを考えるための「長崎市平和派遣事業」等を実施する。また、紙芝居「嘉代子桜」を市内小学校へ配布するなど、戦争の記憶を後世へと伝えていく事業をあらたに取り組む。		
	17	④	④	非核・平和推進事業	総務課	本市の平和に対する基本的姿勢を示す「北九州市非核平和都市宣言」に込められた平和への願いを市民に伝えるため、また、悲慘な戦争の記憶を風化させることなく次の世代に伝えるため、事業を実施するもの。	市民が平和の尊さを理解し、共有していくこと	—	目標 —	実績 —	達成率 —	—	—	—	課長 0.10 人	順調					引き続き、平和の願いが込められた「嘉代子桜・親子桜」の市内への植樹や、長崎市が主催する「青少年ピースフォーラム」への小中高校生の派遣、親子で平和の尊さを考えるための「長崎市平和派遣事業」等を実施する。また、紙芝居「嘉代子桜」を市内小学校へ配布するなど、戦争の記憶を後世へと伝えていく事業をあらたに取り組む。	順調
III-1-(3)- ④ 高度情報 社会への 対応	18	⑩	⑩	(仮称) デジタル市役所推進事業	情報政策課	北九州市官民データ活用推進基本条例（平成29年12月制定）に基づく「北九州市官民データ活用推進計画」（令和元年6月策定）や「デジタル手続法」（令和元年5月公布）をふまえ、市民が様々な手続き等をWeb上で、ワンストップで行える「(仮称) デジタル市役所」の構築を推進する。	オープンデータサイトアクセス数（月平均）	791件 (H29年度)	目標 3,000 件	実績 4,341 件	達成率 144.7 %	4,500 件	4,800 件	5,000件 (R3年度)	課長 0.20 人		大変 順調	官民データ活用推進計画を策定したことにより、今後は具体的施策を推進していく。 従前の「官民データ活用」という名称から、より具体的で分かりやすい「デジタル市役所」という名称に変更し、手続きオンライン化、オープンデータの推進に努める。 手続きオンライン化については、市民にとってより使いやすい電子申請の仕組みを目指し、利用拡大、再構築等の検討を進めるとともに、これらの手続きをより分かりやすく一元的に提供する（仮称）デジタル市役所の構築を進める。 合わせて、市保有データのオープン化（オープンデータ）を推進し、データの公開数だけでなく、公開するデータの質向上（PDFデータ⇒CSVデータなど）も検討を進める。	順調	引き続き、手続きオンライン化と市保有データのオープン化を推進する。 特に手続きオンライン化に関しては、市民との接点となる電子上の申請窓口の再構築及びこれらを一元的に提供できる環境構築を目指し、さらなる活用促進に取り組む。		
						電子申請件数	501,000件 (H29年度)	目標 505,000 件	実績 集計中	達成率 —	516,000 件	525,000 件	531,000件 (R3年度)	係長 0.50 人	職員 1.10 人							

【Plan】 計画 / 【Do】 実施														【Check】 評価 / 【Action】 改善								
施策番号・施策名	No.	SDGs 主な ゴール 番号	SDGs ゴール 番号	基本計画の施策を構成する 主な事業・取組	主要事業 所管課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標（目標・実績）					成果の 方向性	R1年度 予算額 （千円）	R2年度 予算額 （千円）	事業費 の増減	人件費（目安）			H30年度 事業 評価	R2年度に向けて 強化・見直した内容 （評価に対する改善方法等）	H30年度 局施策 評価	R2年度に向けて 強化・見直した内容 （評価に対する改善方法等）
							指標名等	現状値 （基準値）	H30年度	R1年度	R2年度					中期 目標	金額 （千円）	職位				
Ⅲ-3-(3)- ① 市民参画 と協働の ための仕 組みづく り	19	⑪	⑪	北九州市自治基本 条例推進事業	総務 課	本市の自治の基本的 ルールを定めた「北九州 市自治基本条例」（平成 22年10月1日施行）の意 義や理念などを多くの市 民に理解してもらうた め、周知等を行う。ま た、情報共有や住民参 画の視点から業務を行 い、条例の目指すまち づくりができるよう、 職員向けの研修を行 う。	市民が主役の自治 （市民自治）の確立	目標	—	—	—	—	—	—	—	課長	0.10	人	順調	引き続き、市民向けの周知活 動や職員に対する研修等を実施 する。また、特に市政への関心 が低い若い世代への周知を図る ため、大学等への出前講演など に取り組む。	順調	市民が主役の自治（市民自 治）の確立に向け、自治基本条 例に対する理解を深め、市民の 市政への参画を推進していくた め、今後も条例の周知活動を継 続実施していく。
							実績	—							係長	0.20	人					
							達成率	—							職員	0.20	人					
Ⅲ-3-(3)- ③ 企業の地 域活動へ の参画促 進	20	⑧	⑤ ⑧ ⑩	ワーク・ライフ・ バランス推進事業	女性 活躍 推進 課	誰もが多様な働き方や 生き方を選択でき、活力 ある豊かな社会を実現す るため、「北九州市女性 活躍・ワークライフバラ ンス推進協議会」を中心 に、企業等の取組支援な どを行うとともに、企業 や地域での様々な活動と 連携しながら仕事と生活 の調和（ワーク・ライ フ・バランス）の推進を 図る。	仕事と生活の調和が 図られていると感じ る人の割合 ※中期目標改訂	目標	単年度目標 なし	H25年度の 水準より増 加	R1年度比 増加	—	—	—	—	課長	0.30	人	順調	子育て中の労働者で仕事と生 活の両立が図られていると感じ る人の割合が上昇するように、 北九州市女性活躍・ワークライ フバランス表彰の実施やワー ク・ライフ・バランス推進に関 する企業へのアドバイザー等の 派遣、各種セミナーの開催等、 企業への支援を継続して実施す るとともに、事業の効果的なPR を図る。 【中期目標の変更内容】 「元気発進！子どもブラン （第3次計画）[R1～6]」策定に 伴う時点更新を行い、目標を 「H25水準より増加」から「R1年 度比増加」に変更した。	順調	「北九州市女性活躍・ワーク ライフバランス推進協議会」を 中心に、子育て中の労働者で仕 事と生活の調和が図られてい る人の割合が今後もさら に上昇していくよう、引き続き ワーク・ライフ・バランス推進 に関するアドバイザーの派遣 や、各種セミナー等、企業への 各種支援を通じて、企業のワー ク・ライフ・バランスに関する 意識改革を一層推進していく。
							R1年度値を 設定 （参考：H25 41.0%）	実績	51.8 %						係長	0.50	人					
							達成率	—							職員	0.30	人					
Ⅳ-3-(2)- ① 若年者の 就業意識 の啓発や 能力開 発・就職 活動への 支援	21	⑧	④ ⑤ ⑥ ⑩	働き方改革先進都 市事業	女性 活躍 推進 課	女性の理工系分野への 関心を高めることを目的 とした女子中学生向けの 「理工チャレンジ」体験 プログラムや、子育て女 性向け就業支援等、将来 にわたっての多様な働き 方の実現をさらに推進す る。	女性の就業率（25～ 44歳） ※中期目標改訂	目標	単年度目標 なし	70 %	単年度目標 なし	—	—	—	—	課長	0.10	人	順調	「理工チャレンジ」体験プロ グラムについては、予算面での 効率化を図りつつも、内容面で の充実に取り組む。 【中期目標の変更内容】 ・女性の就業率（25～44歳）を 「R1年度までに70%」から「R5年 度までに73%」に変更。（第4次北 九州市男女共同参画基本計画に 掲載） ・ウーマンワークカフェ北九州 開設後の実績や雇用動向を踏ま え、新規利用者数の目標を 「4,000人（R1年度）から3,500 人（R6年度）」に変更。	順調	女子生徒向け理工系職業体験プ ログラムの実施や、子育て女性 の就職支援を実施する。
							実績	—							係長	0.20	人					
							達成率	—							職員	0.30	人					
							ウーマンワークカ フェ北九州新規利用 者数 ※中期目標改訂	目標	3,600 人	4,000 人	3,340 人	—	—	—	—	—	—	—				
								実績	3,295 人													
								達成率	91.5 %													

【Plan】 計画 / 【Do】 実施													【Check】 評価 / 【Action】 改善											
施策番号・施策名	No.	SDGs 主な ゴール 番号	SDGs ゴール 番号	基本計画の施策を構成する 主な事業・取組	主要事業 所管課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標（目標・実績）					成果の 方向性	R1年度 予算額 （千円）	R2年度 予算額 （千円）	事業費 の増減	人件費（目安）			H30年度 事業 評価	R2年度に向けて 強化・見直した内容 （評価に対する改善方法等）	H30年度 局施策 評価	R2年度に向けて 強化・見直した内容 （評価に対する改善方法等）		
							指標名等	現状値 （基準値）	H30年度	R1年度	R2年度					中期 目標	金額 （千円）	職位					人数	
IV-3-(2)- ②女性が活躍する産業都市づくりの推進	22	⑤	④ ⑤ ⑧ ⑩ ⑪	男女共同参画センター及び勤労婦人センター管理運営事業	男女共同参画推進課	性別による固定的役割分担意識に肯定的な人の割合	26.7% (H29年度)	目標 単年度目標なし	単年度目標なし	単年度目標なし	H29年度 (26.7%)の水 準より減少 (R4年度)	継続	330,272	339,251	維持	8,950	課長	0.30	順調	男女共同参画社会の形成の推進にあって効果的な取組を実施するため、講座などの事業内容の見直しに取り組む。 「公共施設マネジメント実行計画」に基づくレディースの用途廃止によりムーブに集約する事業について、見直しを行う。 また、女性活躍に取り組む企業への支援や女性管理職のスキルアップ、企業横断的なネットワーク化に取り組むほか、引き続き、女性の職業生活の拠点となるよう「ウーマンワークカフェ北九州」を運営し、引き続き女性が創業しやすい環境づくりへの取組みや就業支援等の充実を図っていく。	順調	男女共同参画社会の形成の推進に向けたイベントや講座の開催、就業・キャリアアップ支援、相談事業などを、事業計画に基づき実施し、市民の意識改革に繋げていく。 「公共施設マネジメント実行計画」に基づき、R2年度末にレディースの用途廃止をムーブに事業を集約するが、集約する事業については見直しを行う。		
						男女共同参画社会という言葉の認知度	69.7% (H29年度)	目標 80%	単年度目標なし	単年度目標なし	80% (R4年度)						係長	0.40					職員	0.20
						達成率	—	—	—	—	—						—	—						
23	⑤	④ ⑤ ⑧ ⑩	女性輝き！推進事業	女性活躍推進課	女性の就業率（25～44歳） ※中期目標改訂	65.9% (H22年国勢調査)	目標 単年度目標なし	70%	単年度目標なし	73% (R5年度)	継続	9,854	11,455	増額	12,750	課長	0.50	大変 順調	創業後10年程度までの女性創業者を対象としたセミナーや交流会の開催等の機会を増やし、女性の創業支援のこれまで以上の充実を図る。 【中期目標の変更内容】 ・女性の就業率（25～44歳）を「R1年度までに70%」から「R5年度までに73%」に変更。（第4次北九州市男女共同参画基本計画に掲載） ・ダイバーシティ行動宣言等登録・届出企業（累計）を「R1年度までに1,200社」から「R6年度までに1,600社」に変更。					
					ダイバーシティ行動宣言等登録・届出企業（累計） ※中期目標改訂	597社 (H26年度)	目標 単年度目標なし	1,200社	単年度目標なし	1,600社 (R6年度)						係長	0.40			職員	0.40			
					実績	1,319社	—	—	—	—						—	—							
24	⑧	⑤ ⑧ ⑪	<新>北九州イクボス同盟拡大推進事業	女性活躍推進課	働く人の幸せ、生産性・業績の向上、人材確保に繋がり、その先にある「働きやすいまち北九州」を目指すために、平成29年度に設立した「北九州イクボス同盟」の拡大を推進し、経営者・管理職の意識改革を図る。	R1年度値を設定 (参考:H30 51.8%)	目標		R1年度比増加	R1年度比増加 (R6年度)	—	—	1,500	—	10,700	課長	0.30	—	市内企業がイクボスの取組をより加速化させるためのインセンティブとして、イクボス等の推進に積極的な市内企業を主体とした、女性や若者等の求職者向けのイクボス同盟企業PR会等を実施する。					
					実績					係長						0.50								
					達成率					職員						0.30								

【Plan】 計画 / 【Do】 実施														【Check】 評価 / 【Action】 改善									
施策番号・施策名	No.	SDGs 主な ゴール 番号	SDGs ゴール 番号	基本計画の施策を構成する 主な事業・取組	主要事業 所管課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標（目標・実績）					成果の 方向性	R1年度 予算額 （千円）	R2年度 予算額 （千円）	事業費 の増減	人件費（目安）			H30年度 事業 評価	R2年度に向けて 強化・見直した内容 （評価に対する改善方法等）	H30年度 局施策 評価	R2年度に向けて 強化・見直した内容 （評価に対する改善方法等）	
							指標名等	現状値 （基準値）	H30年度	R1年度	R2年度					中期 目標	金額 （千円）	職 位					人 数
25	⑧	⑤ ⑧ ⑩	⑤	ウーマンワークカ フェ北九州運営事 業	女性活 躍推 進課	女性の就職・キャリア アップ・創業などをワン ストップで支援する 「ウーマンワークカ フェ北九州」を運営する。	女性の就業率（25～ 44歳） ※中期目標改訂	目標	単年度目標 なし	70 %	単年度目標 なし	73% (R5年度)	継続	31,933	32,672	維持	7,950	課長	0.30 人	順調	相談事例の紹介やセミナー案 内等、ホームページやSNS等の充 実を図り、ウーマンワークカ フェ北九州の認知度向上や来所 者数の増加に取り組む。 【中期目標の変更内容】 ・女性の就業率（25～44歳）を 「R1年度までに70%」から「R5年 度までに73%」に変更。（第4次北 九州市男女共同参画基本計画に 掲載） ・ウーマンワークカフェ北九州 開設後の実績や雇用動向を踏ま え、新規利用者数の目標を 「4,000人（R1年度）から3,500 人（R6年度）」に変更。		
								実績	—									達成率	—				
26	⑧	④ ⑤ ⑧ ⑩	④	働き方改革先進都 市事業	女性活 躍推 進課	女性の理工系分野への 関心を高めることを目的 とした女子中学生向けの 「理工チャレンジ」体験 プログラムや、子育て女 性向け就業支援等、将来 にわたっての多様な働き 方の実現をさらに推進す る。	女性の就業率（25～ 44歳） ※中期目標改訂	目標	単年度目標 なし	70 %	単年度目標 なし	73% (R5年度)	継続	2,580	2,300	減額	5,400	課長	0.10 人	順調	「理工チャレンジ」体験プロ グラムについては、予算面での 効率化を図りつつも、内容面で の充実に取り組む。 【中期目標の変更内容】 ・女性の就業率（25～44歳）を 「R1年度までに70%」から「R5年 度までに73%」に変更。（第4次北 九州市男女共同参画基本計画に 掲載） ・ウーマンワークカフェ北九州 開設後の実績や雇用動向を踏ま え、新規利用者数の目標を 「4,000人（R1年度）から3,500 人（R6年度）」に変更。		
								実績	—									達成率	—				
27	⑤	④ ⑤ ⑩	④	(公財) アジア女 性交流・研究 フォーラム事業	男女共 同参 画推 進課	「国際的な最新情報の 収集・発信」「成果の地 域還元」「あらゆる分野 での女性のエンパワーメ ント」「次世代育成」 「情報提供の充実」を目 指し、様々な事業を実施 する、(公財)アジア女性 交流・研究フォーラムの 活動を支援する。	男女共同参画社会と いう言葉の認知度	目標	80 %			80% (H30年 度)	継続	42,000	39,000	減額	4,050	課長	0.20 人	順調	「アジア女性会議」や市民向 けの研究報告会などの開催を通 じて、男女共同参画に関する意 識の醸成に努める。	順調	本市の男女共同参画社会の形 成の推進に向け、課題認識や解 決に繋がる取組を進めていく。
								実績	—									達成率	—				
							性別による固定的役 割分担意識に肯定的 な人の割合	目標	単年度目標 なし	単年度目標 なし	単年度目標 なし	H29年度の水準 より減少 (R4年度)					職員	0.10 人					